

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	蔵敷公民館事業（施設管理）			
担当部署・課長名	中央公民館	課	蔵敷公民館	係 課長名 佐伯 芳幸

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1-2	-
【施策名】 生涯学習の充実	総 合 計 画 書 (ページ)	35	

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ⁴	社会教育費	目 ²	公民館費	事業 ⁴	蔵敷公民館事業
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	------	-----------------	---------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
	蔵敷公民館利用者 →	蔵敷公民館利用者数（集計表あり）
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）
	利用者がが安全に利用できるようにする →	公民館の利用率（集計表あり）
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）
	①施設内外の点検・確認 ②業者に点検委託している ③工事修繕 →	①開館日数（集計あり） ②委託件数（予算書等参考） ③施設工事修繕件数（実績より）

2 指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	22,307	20,807	22,217	
	成果指標	②の数値	%	63	59	60	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	①日 ②件 ③件	①304 ②14 ③8	①304 ②10 ③5	①305 ②11 ③5	

3 経費	事 業 費（実績）	円					※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	円	経費は、各館事業費に含まれる				
	一般財源	円					
	特定財源	円					
	(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	人					
	事業費+人件費	円				0	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。
	昭和53年11月20日、市内4番目の公民館として開館。市民の生涯学習の充実を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	平成25年度に耐震診断調査を委託し、建物面での耐震は問題がなかったが外壁面において指摘があり、平成28年度に外壁調査委託を実施した。

仕 事 の 内 容	蔵敷公民館事業（施設管理）			
担当部署・課長名	中央公民館	課	蔵敷公民館	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	各学習室の鍵が開閉しにくい、椅子が古くなっており座りにくいなど学習室備品についての要望があった。		

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容		
	施設備品等も経年劣化し、修繕や買い替えなども費用がかかる。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。		
予算の範囲内において、冷暖房の故障箇所の修繕やトイレや非常扉等の施設の修繕を実施した。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
施設備品等も経年劣化し、修繕や買い替えなども費用がかかるが、故障箇所などは早急に対処する。			

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	屋上防水工事・外壁改修工事を主要事業計画に提出した（H33実施予定分として）。その他の修繕については優先順位をつけ予算の範囲で修理を行うほか、必要に応じては予算計上していく。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
修繕箇所を把握し計画的に予算計上していくが、施設の老朽化のため、大規模修繕となると多額の費用がかかる。			
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費を増加させる。